

新年会記念俳句会優秀作品

平成十八年 一月三十日

特選

鍋奉行 先づは 推すすめる 白い葱

長谷川晴生

寒風や 葱のみどりに 元気づく

熊倉 高志

年明けの 单身部屋では 葱も伸び

木原 崇

風呂吹や 味噌の旨さが 酒を呼ぶ

田中 久作

北風に しなびた大根 我れ思う

佐藤 秀夫

天

葱刻む 音して 母の匂ひかな

馬場 茂夫

寒風に 葱も主役の 五、十の市

滝口 恵介

食卓に 健康願い ねぎ納豆

佐藤 秀夫

あかぎれに 大根の肌 うらめしき

佐藤 栄祐

大根の ごとごと煮る音 あたたかし

坪井 正康

地

雪畑に 剣山のごと 葱しげる

馬場 一敏

根を深く ことしこそはと 新規格

葦澤喜一郎

駐車場 寒さに耐える 葱の束

星野 健司

朝寝坊 葱切る音に 起こされて

熊倉 高志

雪上の 葱青々と 空を指し

田中 悌司

ひともじの 美しき言葉 師に習う

長 橋

雪ふりて 我家の大根 見つからず

丸山 征夫

大根煮 帰省した子の 笑み嬉し

鈴木 武

物置の 匂い漂う 干し大根

永桶 栄資

大根の 甘さとじ込む 藁布団
広々と 大根畑 靄のなか
軒下の 大根揺れて 家族待ち
大根の 煮え待ちきれず 箸をさす
サンマ焼き おろし大根 舌つづみ

大溪 秀夫
大溪 秀夫
熊倉 高志
馬場 信彦
佐藤 秀夫

人

葱坊主 頭もたげて 競い合い
葱の味 鋤焼鍋で 納得し
年越しの そばにかかせぬ 薬味葱
とんとんと 葱きざむ音 心地よし
大根煮 家族の笑顔 揃へけり

鈴木 武
相田 明雄
田中 久作
佐藤 栄祐
馬場 信彦

選者吟

武藤昭三先生

山里は 葱畑白ふ 道祖神

大根を きざむ刃音に 力あり

葱味噌は 癒^{いや}しの香り 囲炉裏端



